

2026年3月期 第1四半期 決算概要

テルモ株式会社

Chief Financial Officer

萩本 仁

2025年8月7日



おことわり

テルモの開示資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。様々な要因により、実際の業績等が変動する可能性があることをご承知おきください。実際の業績に影響を与えうる重要な要素には、テルモの事業領域を取り巻く経済情勢、為替レートの変動、競争状況等があります。また、この資料に含まれている製品（開発中のものを含む）に関する情報は、宣伝広告、医学的アドバイスを目的としているものではありません。

ハイライト

■ 売上収益

- Q1として過去最高を達成
- 米州が牽引し好調な売上が継続、為替影響を除いて+6%の伸長

■ 利益

- 営業利益・調整後営業利益・当期利益の全てにおいて、四半期として過去最高
- 価格政策と適切な費用コントロールにより売上成長を上回る伸長を継続

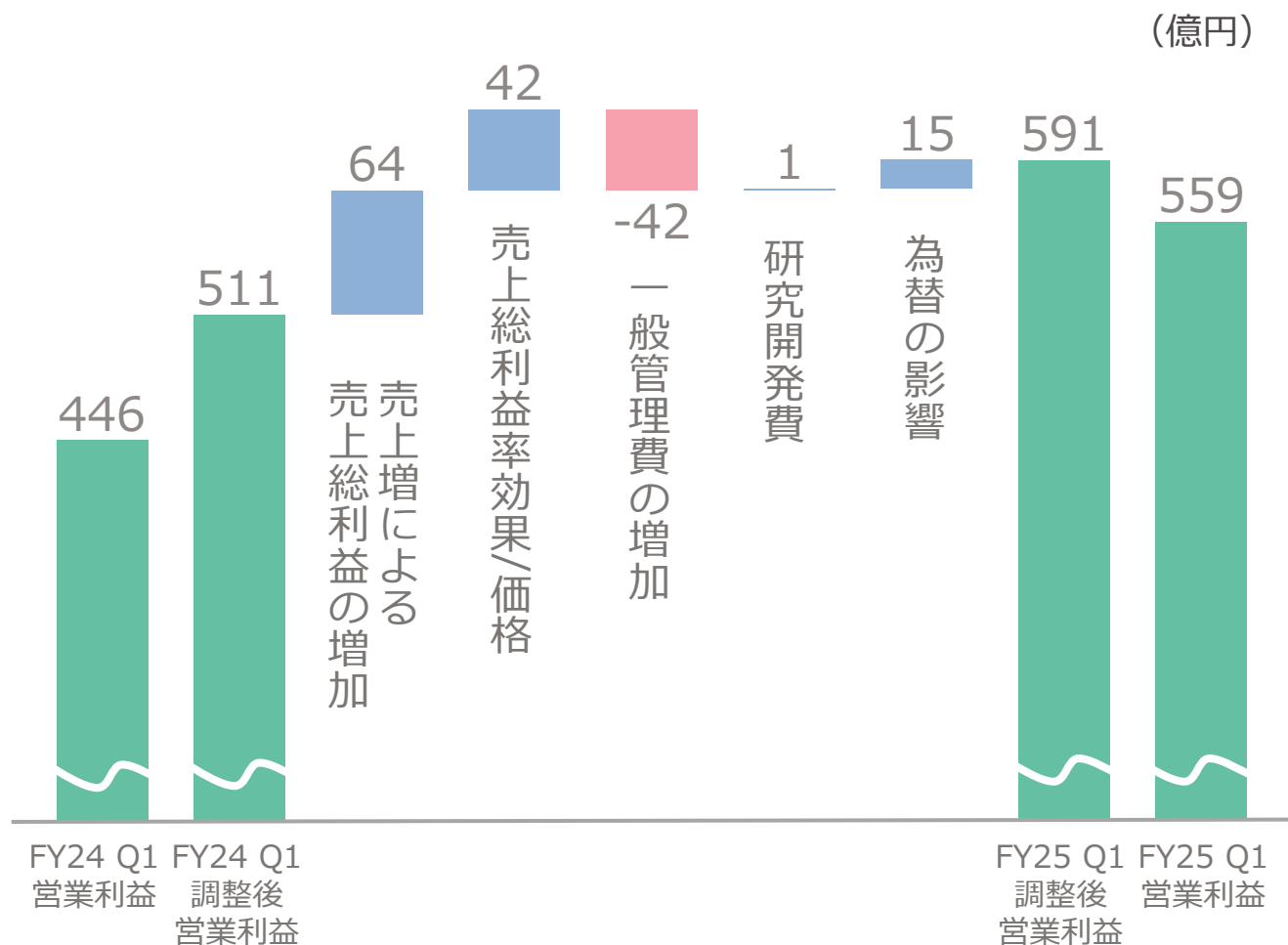
P&L, FCF実績

- 売上収益：TISとグローバルブラッドソリューションの堅調な需要が継続
- 営業利益：売上増と価格政策が売上総利益を押し上げ

金額（億円）	FY24 Q1	FY25 Q1	増減率	為替除く増減率
売上収益	2,582	2,600	1%	6%
売上総利益 (%)	1,376 (53.3%)	1,455 (56.0%)	6%	8%
一般管理費 (%)	748 (29.0%)	755 (29.1%)	1%	6%
研究開発費 (%)	174 (6.7%)	164 (6.3%)	-5%	-1%
その他収益費用	-8	24	-	-
営業利益 (%)	446 (17.3%)	559 (21.5%)	25%	21%
調整後営業利益 (%)	511 (19.8%)	591 (22.7%)	16%	13%
税引前利益 (%)	456 (17.7%)	553 (21.3%)	21%	
当期利益 (%)	339 (13.1%)	418 (16.1%)	23%	
フリー・キャッシュ・フロー	150	107	-28%	

期中平均レート(USD/EUR) 156円/168円 145円/164円

営業利益増減分析：堅調な売上と価格政策により増益



- 売上増による売上総利益の増加：
TISとGBSが全体を牽引、計画通りの進捗
- 売上総利益率効果/価格：
C&Vの価格政策が想定よりも大きく貢献
収益改善策の効果も継続
- 一般管理費の増加：
事業拡大に伴う増加、計画通りに推移
- 為替の影響：
フロー -13億円、ストック +28億円

地域別売上収益：米州が力強く全体を牽引

FY25 Q1 地域構成比		売上収益 (億円)	FY25 Q1 増減率	コメント
		() 内は為替影響除く		
39% 21% 20% 9% 11%	米州	FY23 740 FY24 959 FY25 1,005	5% (15%)	全カンパニーで堅調な需要が継続。TIS、PS、GBSがそれぞれ牽引
	欧州	444 541 543	0% (2%)	C&VではTISとニューロで安定した成長を継続。TMCSではPSが大幅な増収を達成。TBCTはGBSの期ずれが原因で減収
	日本	475 528 528	-0%	C&Vが大きく伸長、特にニューロが二桁伸長で牽引。TMCSは事業譲渡の影響があり一時的に減収するも、通期の想定は据え置き
	中国	200 230 229	-0% (6%)	C&Vが牽引。ニューロはVBP（集中購買）による販路の拡大で成長が加速。TISはVBPの価格下落影響をボリューム増により一部相殺
	アジア他	294 323 294	-9% (-2%)	C&Vは各セグメントの需要拡大により伸長。PSとGBSで期ずれの影響により減収

(C&V: 心臓血管、TMCS: メディカルケアソリューションズ、TBCT: 血液・細胞テクノロジー、TIS: インターベンショナルシステムズ、CV: カーディオバスキュラー、HCS: ホスピタルケアソリューション、LCS: ライフケアソリューション、PS: ファーマシューティカルソリューション、GBS: グローバルブラッドソリューション、GTI: グローバルセラピーイノベーション)

C&V : TISが全体を牽引、利益は大幅な伸長を達成

(C&V: 心臓血管)

(億円)

	Q1			コメント	Q1 売上増減
売上収益	() 内は為替影響除く				
	1,306	1,567	1,578	TIS インターベンショナル システムズ	+15
			+1% (+7%)	TN ニューロ	+4
				TCV カーディオ バスキュラー	+1
調整後 営業利益	269	372	457	TA アオルティック	-9
			+23% (+20%)		

	FY23	FY24	FY25	利益	
利益率	21%	24%	29%	: 増収と価格政策により大幅増益を達成。為替のストック影響も押し上げ要因	

TMCS : Q1では減収も、通期は計画通りの増収増益を想定

(TMCS: メディカルケアソリューションズ)

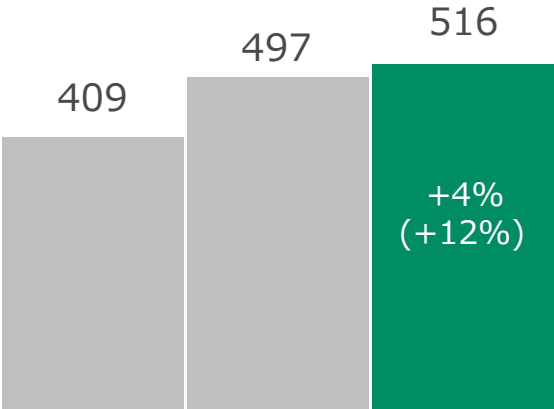
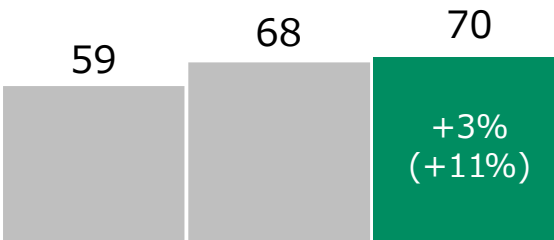
(億円)

	Q1	コメント	Q1 売上増減
売上収益	() 内は為替影響除く 437 518 504	HCS ホスピタルケア ソリューション	-11
		LCS ライフケア ソリューション	-2
		PS ファーマシューティカル ソリューション	+0
調整後 営業利益	28 65 67 FY23 FY24 FY25	利益	
利益率	6% 13% 13%		

TBCT：血漿イノベーションが売上を牽引、利益も計画通りに進捗

(TBCT: 血液・細胞テクノロジー)

(億円)

	Q1	コメント		Q1 売上増減
売上収益	() 内は為替影響除く			
		GBS グローバル ブラッド ソリューション	：北米で好調な全血採血システムの売上に加えて、 Rika（原料血漿採取システム）が大幅に増収	+26
		GTI グローバル セラピー イノベーション	：北米を中心に、細胞・遺伝子治療に伴う細胞採取の 需要拡大に加えて、装置の切り替え需要が継続する も、為替影響により減収	-7
調整後 営業利益		利益		：Rika（原料血漿採取システム）の売上増加による収 益性改善が寄与し増益
利益率	FY23	FY24	FY25	
	14%	14%	14%	

今期の見通し

関税影響は好調なファンダメンタルズにより緩和、FY25業績予想は据え置き

関税影響



- 100億円程度*（FY25通期AOPベース）
*米国輸入：4-7月 一律10%、8月以降 日本からの輸入15%
- 影響は主に下期に発現

ファンダメンタルズ



- 為替影響を除いても業績予想の前提を上回るQ1の推移
- 総じて良好な事業環境、特に北米と中国を中心に需要増が継続
- C&Vを中心にグローバルの価格政策が想定よりも大きく寄与。関税影響も価格転嫁を実施予定

参考資料

P&L（四半期推移）

（億円）

	FY24 Q1 (4-6月)	Q2 (7-9月)	Q3 (10-12月)	Q4 (1-3月)	FY25 Q1 (4-6月)
売上収益	2,582	2,505	2,636	2,639	2,600
売上総利益	1,376 (53.3%)	1,395 (55.7%)	1,451 (55.1%)	1,385 (52.5%)	1,455 (56.0%)
一般管理費	748 (29.0%)	732 (29.2%)	777 (29.5%)	818 (31.0%)	755 (29.1%)
研究開発費	174 (6.7%)	194 (7.7%)	187 (7.1%)	188 (7.1%)	164 (6.3%)
その他収益費用	-8	-38	-30	-138	24
営業利益	446 (17.3%)	431 (17.2%)	458 (17.4%)	242 (9.2%)	559 (21.5%)
調整後営業利益	511 (19.8%)	529 (21.1%)	553 (21.0%)	441 (16.7%)	591 (22.7%)
四半期 平均レート	USD	156円	149円	152円	145円
	EUR	168円	164円	163円	164円

販管費（四半期推移）

（億円）

		FY24 Q1 (4-6月)	Q2 (7-9月)	Q3 (10-12月)	Q4 (1-3月)	FY25 Q1 (4-6月)
人件費		398	384	406	430	406
販促費		52	47	54	60	55
物流費		51	59	56	57	57
償却費		70	68	70	71	68
その他		178	175	190	200	169
一般管理費 (売上比率)		748 (29.0%)	732 (29.2%)	777 (29.5%)	818 (31.0%)	755 (29.1%)
研究開発費 (売上比率)		174 (6.7%)	194 (7.7%)	187 (7.1%)	188 (7.1%)	164 (6.3%)
合計 (売上比率)		922 (35.7%)	926 (37.0%)	963 (36.6%)	1,006 (38.1%)	920 (35.4%)
四半期 平均レート	USD	156円	149円	152円	153円	145円
	EUR	168円	164円	163円	161円	164円

販管費（前年同期比）

（億円）

	FY24 Q1	FY25 Q1	増減率	為替除く 増減率
人件費	398	406	2%	8%
販促費	52	55	6%	10%
物流費	51	57	13%	19%
償却費	70	68	-2%	4%
その他	178	169	-5%	-0%
一般管理費計	748	755	1%	6%
（売上比率）	（29.0%）	（29.1%）		

研究開発費	174	164	-5%	-1%
（売上比率）	（6.7%）	（6.3%）		

販管費合計	922	920	-0%	5%
（売上比率）	（35.7%）	（35.4%）		

調整後営業利益：調整額

(億円)

	FY24 Q1	FY25 Q1
調整後営業利益	511	591
調整① 買収無形資産の償却費	-56	-51
調整② 一時的な損益	-9	19
営業利益	446	559

※ 調整項目に含まれる費用・収益の例

- 買収関連費用
- 減損損失
- 損害保険収入
- その他一時的な損益
- 訴訟関連損益
- 事業再編費用
- 災害による損失

調整②「一時的な損益」の主な項目	FY24 Q1	FY25 Q1
事業再編費用	-11	-13
製薬会社からの損失補償	-	32
その他	2	-0

設備投資、償却費、研究開発費

(億円)

	FY22	FY23	FY24	FY25Q1	FY25予想
設備投資	758	784	825	173	950
償却費	635	702	781	194	830
買収無形償却費	188	200	210	50	200
その他	447	502	571	144	630

設備投資は、建設仮勘定計上ベース・リース含まず、償却費はリース償却（IFRS16）含まず

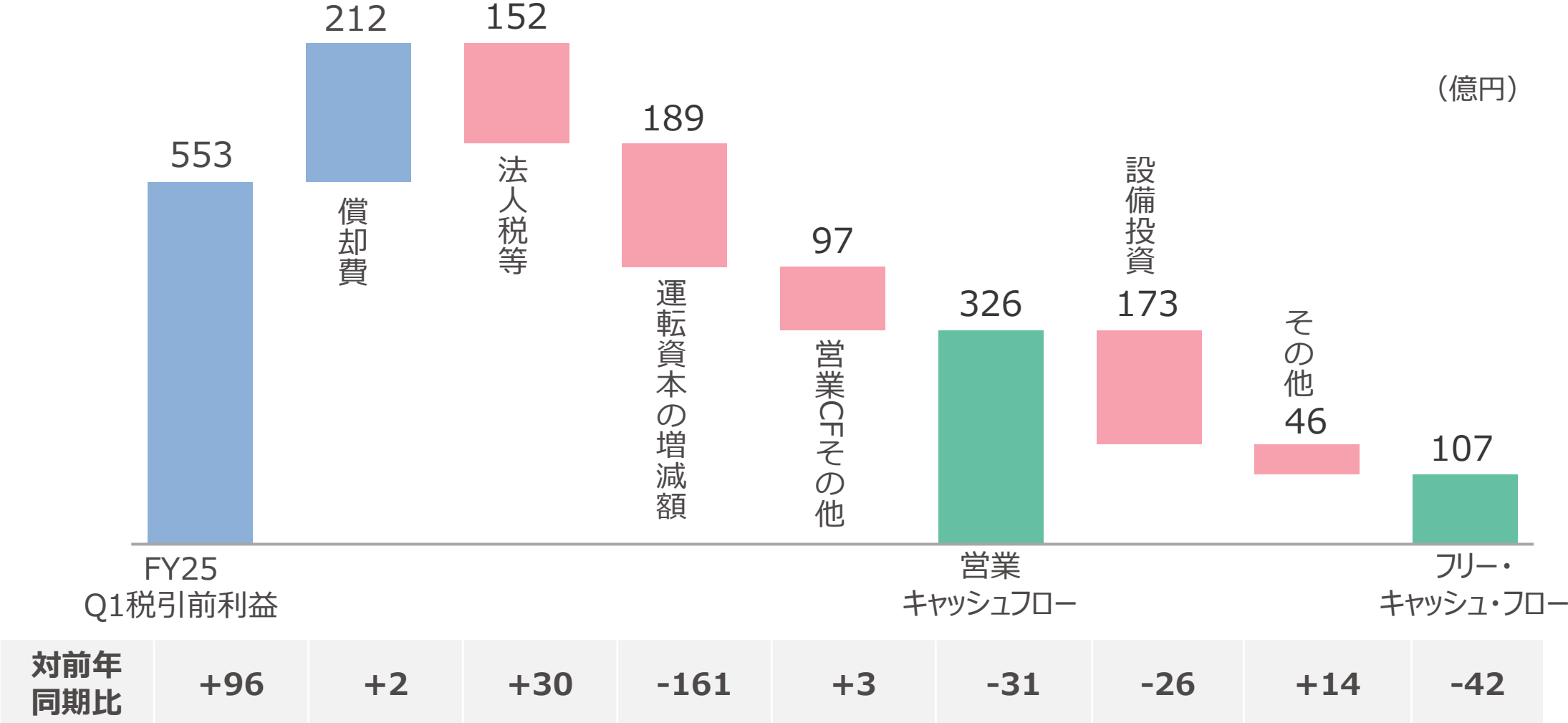
■ FY25Q1実績（173億円）：

CDMO（開発製造受託）等生産体制強化のため甲府工場内の新棟建設他、原料血漿採取関連、R&D投資、基幹システム（SAP）等のIT投資を継続

	FY22	FY23	FY24	FY25Q1	FY25予想
研究開発費	616	691	742	164	715

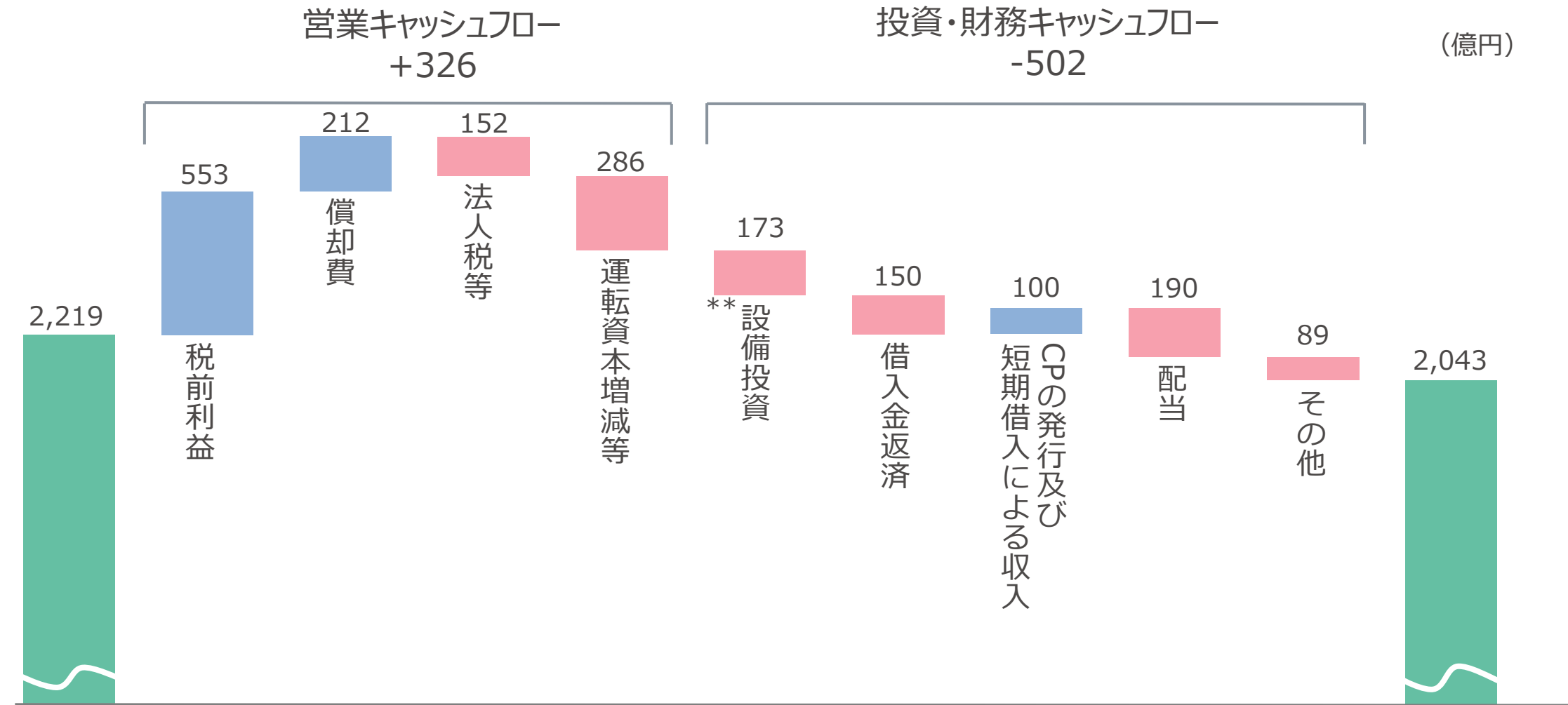
フリー・キャッシュ・フロー

(億円)



設備投資は建設仮勘定計上ベース

キャッシュフロー



* FY24末
現預金残高

*期末現預金残高はB/Sの「現金及び現金同等物」と整合
**建設仮勘定計上ベース

FY25Q1末
現預金残高

為替感応度

1円の円安に対しての年間影響額（フロー） (億円)

	USD	EUR	中国元
売上収益	28	12	40
調整後営業利益	3	6	23

1円の円安に対しての影響額（ストック）

	USD	EUR	中国元
調整後営業利益	-3.0	-1.0	-2.5

